



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

2017-2018 年度 地域奉仕・環境事業通信

NO.2

2017 年 8 月 30 日



地域奉仕・環境事業主任 吉田由美(大阪なかのしま)

一人一人が、社会への奉仕を行う道具としての意識を持ちましょう
理解されることよりも理解することを
愛されることよりも愛することを望めるように

【アジア・太平洋地域大会・CS フォーラム 報告】

7 月 21 日～23 日にタイのチェンマイで開催されたアジア・太平洋地域大会に参加いたしました。2 日目に 5 グループに分かれて行われたフォーラムの内、[Forum3 Community Services]の報告をさせていただきます。



ほぼ英語で行われた発表の、同時通訳の聞き取りで、意味、内容に過誤が有る事をお許しください。

《今、世界で行われているワイズメンによる奉仕活動》

直前国際会長の Joan Wilson はパネリストとして、世界各地で行われているワイズメンによる CS 活動を紹介してくださいました。

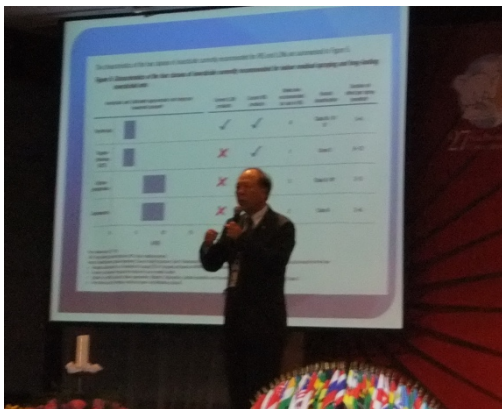
冒頭 Joan Wilson (右写真) から「Community Services 活動 はワイズメンの象徴として行われており、YMCA へのサポート、直接的なコミュニティー支援、間接的に行われる国際支援のトライアングルを意味します」との説明が有り、報告は今現在、世界で行われている国際支援内容の一部です。



ウガンダでは、小さな集落の 5 歳以下の子供達に直接薬剤を塗布した蚊帳を RBM 事業としてではな

く届けています。タンザニアの孤児院には、クラブが直接訪問し学用品やおもちゃを年 2 回届けています。インドでは、ホームレスに対して家を 100 軒作りました。これらは各部各クラブでの運動で、ワイズが存在が世に知られています。タンザニアでは、犯罪を犯した若者とユースとが一緒に人々の役に立つ仕事で働いています。話をしながら一緒に働く事で、立ち直るきっかけになっています。木を植え水や肥料を与える植樹にも CS 資金が使われています。韓国では、200 名のワイズと一緒にキムチを作り、それらをクラブに持ち帰って養老院や孤児院に配っています。また、マーケットの掃除を行い、マーケット周辺にいる市民に『清潔』が大切な事であることを教えています。ケニアでは、スラム地域にある 8 年生の学校の卒業生に、上級の学校に行くための奨学金を出しています。ジャマイカでは、ビーチの掃除を朝早い時間に行っており、ワイズメンズ活動として見える支援を行っています。デンマークでは、移民の人達と地域の人々とのワールドディナーをクラブ単位で行っています。

以上は、Joan Wilson 自ら現地を訪問し活動に参加した報告です。



《RBM ロールバックマラリアについて》

RBM（ロールバックマラリア）の活動報告は、アジア・太平洋地域会長の Dr. Tung-Ming Hsiao（左写真）です。RBM は 2008 年、国連が規定しワイズは国連のパートナーとして行っている活動です。マラリヤは蚊を媒体として菌が運ばれており、世界の人口の約半分が影響を受ける地域に居住しています。アフリカ・中央アメリカ～南アメリカ・インド・南太平洋がマラリヤの影響を受ける 4 ゾーンです。

薬剤を塗布された蚊帳が最も効果的で、2005 年に蚊帳配付を始め、2009 年までにマラリヤの罹患者が 60%減少した実績があります。RBM で配布している蚊帳には 4 種類の薬剤が塗布されています。薬の抗体により蚊が強くなっている問題も少々出てきていますが、特に 5 歳以下の子供や妊婦に対して効果を発揮している蚊帳が一張り 10 ドルで購入できる有効性は証明されています。

《アジア・太平洋地域における活動について》

アジア地域の各代表による活動報告が行われました。

まず、東日本区からは利根川恵子直前理事により（右写真）、東日本大震災から 6 年が経ち、各国からの支援への感謝と復興の状況の報告が有りました。西日本区区の岩本悟直前理事も、熊本地震支援の感謝と、西日本各地で行われている具体的な CS 活動報告の報告を行いました。



台湾からは、20 年前の台湾地震で障害を持った方々などが入居している老人ホーム支援や、南部の高雄 YMCA のユースが行っている孤児・片親児童へのマナー講習や技術習得の為の支援、チャリティーバ

ザー、献血活動などの報告がありました。

フィリピンからは、ワイズの活発な活動として、支援を必要としている幼児から高校生までの子供達へ『栄養の日』と名付けた食事提供の他、救急医療の無料提供、ワイズより寄贈された消防自動車、火事の罹災者への支援が報告されました。また、RBM 活動も盛んで蚊帳を各所で配布しているそうです。

オーストラリアの代表からは、環境に対する活動の報告がありました。公共の建物へのソーラーパネルはワイズが寄贈したそうです。その他、クリスマスにサンタクロースからの手紙を子供たちに届ける活動は、10 年間で 37 万通を超えたそうです。また、老人のスポーツジムへの送り迎えを行い、動けなくなっている人たちの体力回復のお手伝いを行って、旅行へ行けるようになったそうです。YMCA と一緒に朝食支援を続けたことにより、市民賞を頂きました。YMCA へ提供された資金は、YMCA 職員の研修に使われたり、海岸でのライフセービング活動の支援になったりしているそうです。

8 か国 26 クラブが所属する南東アジア地域からの報告は、シンガポールではパーキンソン患者や老人ホーム入居者への動きにくい方たちへの買い物支援や家庭訪問、献血活動など。タイでは口唇口蓋裂の子供達への治療活動は 12 年間続いており、その中心となっているのが今回の大会ホスト Dr. Pat Srisilapanan (右写真) です。マレーシアでは香港と共働で障害者への口内ケアや支援を必要としている家庭への訪問、視覚障がい者への支援などで国境を越えた CS 活動を行っています。



最後の報告は韓国からです。韓国の代表からは、ワイズメンとしての誇り、アイデンティティーの確立を強調され、国際的な活動や奉仕を通じて社会のオピニオンリーダーとなるとの言葉がありました。

《感想》

2017-2018 年度 西日本区地域奉仕・環境事業主任として、アジア地域大会にて報告された CS 活動の内容は非常に興味深く、ワイズメンとして背筋が伸びる想いがしました。世界中で行われているワイズメンによる CS 活動ですが、西日本区の各クラブが地道に進められている活動も素晴らしい内容が本当に沢山有り、それらに関わらせて頂ける 1 年間は貴重な充実した時間となることと期待しております。



Asia and Pacific Alliance of
YMCAs

We are a federation of YMCA movements
in Asia and Pacific area.